



議会だより

No. 135

発行：静岡県駿東郡小山町議会

おやま 町議会



祝 富士山世界文化遺産登録!! 「開山式」

～ 7月1日 開山式パレード「須走小学校 富士山みこし」～

6月
定例会

- 新議長に鷹嶋議員を選出 副議長は米山議員 2
- 常任委員などの委員を改選 3
- 2つの基金条例などを可決! 4
- 町政のここが聞きたい 6人が一般質問 6
- 研修報告・私の望み 12

6月定例会

新議長に鷹嶋邦彦議員

副議長には米山千晴議員を選出

6月3日定例会初日、小山町議会会議運営規程等により議長・副議長・各常任委員会などの改選を行いました。その結果、議長に鷹嶋邦彦議員、副議長には米山千晴議員を選出し、各常任委員会や議会運営委員会などの委員も新たに選出することで議会の組織体制を一新しました。新議長・副議長の御挨拶とともに各委員会構成をお知らせすることにより、今後町民の皆様へ信頼される議会となるよう努力してまいります。



議長 鷹嶋 邦彦

この度の議会において、議長に選出されましたことは、誠に身に余る光栄であり、その責任の重大さを痛感するとともに、身の引き締まる思いであります。

依然、厳しい財政状況ではありますが、町民の皆様への期待と信頼に応えられるよう、町政の発展と町民福祉の向上を図るため、町議会の公正で公平な運営に誠心誠意努力して参ります。

皆様方の温かいご声援をお願いし挨拶とさせていただきます。



副議長 米山 千晴

この度の定例会において、副議長の要職を拝命いたしましたことは、誠に身に余る光栄であります。またその職責の重さを痛感するとともに身の引き締まる思いであります。

さて、本年は富士山が世界文化遺産に登録され、町内の構成資産であります富士山須々木神社が、今年も富士山須々木神社の御祭りにあわせて、町民の皆様からご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

今後とも議員各位はもとより、町民の皆様はますますのご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

議会運営委員会

- 委員長 梶 繁夫
- 副委員長 桜井 光一
- 委員 阿部 司
- 委員 遠辺 悦郎
- 委員 真田 勝
- 委員 米山 千晴

議会運営委員会は、議会を円滑に、しかも効率的に運営するために常任委員会とは別に設置されている委員会です。

議会運営の責任者である議長の諮問的な性格を帯びた委員会です。定例会や臨時会の開会前に開かれます。協議される事項は、次のような調査及び提出された議案、陳情等の審査を行います。

- ① 議会の運営に関すること
 - ② 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関すること
 - ③ 議長の諮問に関すること
- 議長が出席し、委員以外の議員も必要な場合、出席することがあります。

総務建設委員会 6人

委員長 阿部 司議員 委員 梶 繁美議員 委員 池谷 洋子議員
副委員長 池谷 弘議員 委員 込山 恒広議員 委員 真田 勝議員



▲7月12日 総務建設委員会協議会現地視察

主な担当分野

- ・地域振興及び活性化、土地利用
 - ・財政、税金
 - ・環境、衛生、上下水道
 - ・道路や河川の整備、地籍調査
 - ・都市計画、住宅施策、公園整備
 - ・商工業及び観光の振興
 - ・農業及び林業の振興
- などに関する調査及び議案、請願等の審査をします。

文教厚生委員会 5人

委員長 渡辺 悦郎議員 委員 桜井 光一議員 委員 米山 千晴議員
副委員長 高畑 博行議員 委員 湯山 鉄夫議員

主な担当分野

- ・教育、子育て、児童福祉
 - ・生涯学習、スポーツ、文化財
 - ・住民戸籍、国民健康保険
 - ・福祉、介護保険
 - ・健康増進、食育
 - ・交通安全、消費者行政
 - ・防災、災害対策
- などに関する調査及び議案、請願等の審査をします。



▲7月23日 文教厚生委員会協議会

<p>◆9月25日 委員長報告、質疑、採決</p> <p>◆9月17日 文教厚生委員会</p> <p>◆9月13日 総務建設委員会</p> <p>◆9月6日 決算質疑 一般質問</p> <p>◆8月30日 補正説明</p> <p>◆8月28日 提案説明</p>	<p>9月定例会の お知らせ</p>	<p>◎広報対策特別委員会 委員長 米山 千晴 副委員長 池谷 弘 委員 高畑 博行 委員 桜井 光一 委員 池谷 洋子</p> <p>◎駿東地区交通災害 共済組合議会議員 藤嶋 邦彦(議長)</p> <p>◎議会選出監査委員 真田 勝</p> <p>◎御殿場市・小山町 広域行政組合議会議員 副議長 梶 繁美 議員 阿部 司 議員 桜井 光一 議員 池谷 弘 議員 真田 勝</p> <p>◎その他の選出議員</p>
--	-------------------------------	---

平成25年第3回6月定例会を6月3日から19日まで、会期を17日間として開催しました。
今定例会には、当局から補正予算を含め12議案と、議会から2議案の合計14議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり承認可決しました。

基金条例を制定

小山町須走地域振興事業基金条例

一般社団法人須走彰徳山林会から、須走地域における「地域振興」「基盤整備」等を目的として寄附される寄附金を、資産として管理するため、地方自治法に基づき基金条例を制定するもの。

※全員賛成で可決

小山町山地強靱化総合対策基金条例

町内の森林に起因して発生する災害の防止や被害軽減対策などを行う、山地強靱化総合対策事業の経費に充てるため、地方自治法に基づき、基金条例を制定するもの。

※全員賛成で可決

その他2件を制定

小山町富士山須走口五合目電化事業分担金徴収条例

小山町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

※全員賛成で可決

当初予算に8千円余増額補正

一般会計補正予算は歳入歳出それぞれ8千58万6千円を追加し、予算の総額を92億58万6千円とするもの。

▼歳入の部

・ 県補助金を6千9百86万2千円増額。
・ 以下主なもの。
・ 森林整備加速化林業再生事業補助金 3千65万7千円

間伐材等加工流通施設の整備
・ タウンマネージャー
・ 配置支援事業補助金 1百万円
・ コミュニティ助成 事業助成金 1百80万円
・ 訓練用水消火器等の整備 特別対策事業補助金 3千6百40万5千円

「スクリア土壤流出軽減のための整備」「工場立地用地調査」「観光動向調査」の緊急雇用創出事業

▼歳出の部

歳入で増額した事業のほか、次の事業を増額。
・ 観光施設管理運営費 2百60万円

足柄城址を観光施設として有効活用をはかり利便性を向上させるための道路整備等
・ 社会体育振興費 1百50万円
・ 町民体育大会開催のための交付金 ※全員賛成で可決

附帯決議を可決

一般会計補正予算観光施設管理運営費の増額補正に対し、議員提案により、足柄城址は重要な文化遺産であり、その価値を未来へ繋いでいくためには、可能な限り現状のまま残していくことが重要である。よって、足柄城周辺整備事業及び発掘調査に関する予算執行にあたっては、十分に慎重を期して執行するよう要望する旨の附帯決議を全員賛成で可決した。

重度障害者(児)医療費助成制度における精神障害者の適用改善に関する意見書

精神障害者手帳2級3級所持者に対する精神科入院医療費の制度適用を求める。 ※全員賛成で可決 (静岡県へ提出)

5月臨時会

平成25年第2回5月臨時会を5月10日に開催しました。当局から、工事請負契約の締結2件などについて審議され、原案のとおり可決されました。

◆専決処分の承認

小山町税条例の一部を改正する条例
小山町国民健康保険条例の一部を改正する条例
小山町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
◆工事請負契約の締結
平成25年度 きたこう保育園舎 建設工事
平成25年度 きたこう保育園 外構工事

総務建設委員会の報告 ～基金条例など5議案を可決～

委員長 阿部 司

総務建設委員会を6月11日に開催し、条例の制定や一般会計補正予算等の計5議案についての審議を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。



▲富士山須走口五合目電化工事現地視察

- ・山地強靱化総合対策基金
 条例
 Q この基金の積立額ほどの程度か。
 A これから企業等にお願いくるものであり、現在、目標額はもっていません。
- ・富士山須走口五合目電化事業分投金徴収条例
 Q 分担金250万円の根拠は？
 A 山小屋への工事分が増えたことによる差額が50万円程度となり、協議の上、1軒当たり250万円をお願いしました。
- ・一般会計補正予算
 Q 国際友好交流都市派遣交付金200万円の内容は？
 A カナダ・ミッション市への公式訪問の際、カナダの催しに、小山町のブースを設け、カナダの方に金太郎のシンボルデザインが入ったグッズを作成し配布します。また、鯉のぼりの制作等を考えています。このほか、法被などの制作、輸送費旅費が主なものです。

文教厚生委員会の報告 ～明るく住みよい小山町をめざして～

委員長 渡辺悦郎

文教厚生委員会は、6月12日に開催され、平成25年度一般会計(補正予算)、「重度障害者(児)医療費助成制度における精神障害者の適用改善に関する意見書」について審議を行い、いずれも全員一致で原案のとおり可決しました。

- 次のとおり。
 Q 自主防災費の訓練用消火器の詳細は。
 A 訓練用消火器は水と空気入れがあれば何回も使用できる環境にも優しい水消火器です。各自主防災組織に水消火器4本と標的2台を配布予定です。
- Q 小学校管理運営費、小学校整備事業費の内容は。
 A 年度当初、町内小中学校からの意見聴取によりトイの修繕が必要な学校があり追加補正するものです。



▲小山地区町民プール(金時プール)現地視察

- Q 町民体育大会はなぜ補正予算なのか。
 A 当初予算編成時には計画がありませんでしたが、関係団体や町民からの意見を頂き昨年以上のイベント的な大会を予定しています。
- Q 定柄城址公園管理運営費の手続きにおいて、文化財保護審議会との経緯を説明して頂きたい。
 A 周知の埋蔵文化財包蔵地でもあり、文化財保護法の規定により慎重に進めていきたい。文化財保護審議会から参考意見の申し出がありました。基本的には諮問する内容ではないと判断しました。

**本会議以外の
議会の活動**

- ◆5月14日(火) 全員協議会
- ◆6月4日(火) 全員協議会
- ◆7月29日(月) 県市町議会全員研修会

※その他に、各委員会委員等として活動

町政のここが知りたい



▲建設が進む「新きたごう保育園」建設地

渡辺悦郎
(新生会)

Q 健康まちづくりの推進について

A 県内上位の受診率達成!! 町長自ら広告塔に!!

Q 現在実施中の特定健診、がん検診の受診率は全国的にも高く、平成23年度においては53%を記録していると聞いています。検診率が上がることで疾病の予防や早期受診等により、国

の重要性を示しており、「健康のまち おやま」をめざすために、各種検診受診率目標、受診率アップのための施策、町民への広報の方策、町民との協働について伺う。

保会計健全化に繋がると思いますが、第3次小山町保健計画においても予防

A は平成24年度にも県内上位を記録し、更なる受診率向上のため電話

勧奨を継続します。がん検診受診率は、平成24年度の検診で向上し、県内上位に位置します。受診率50%を目標に受診率向上施策に取り組み、平成24年度には啓発ポロシャツを担当が着用し、イベント等の歩く広告塔として町民の意識啓発を図りました。平成25年8月

を受診率向上強化月間とし、受診勧奨等を関係団体にも協力依頼し、町主催会議等で受診を呼びかけます。私も広告塔となり、自らの健康は自ら守るという意識啓発を図り、町民の健康づくりを推進します。

Q 幼保一体化施設について

A 9月に保護者などへ入園手続きの説明会を開催

Q 就学前児童の減少、施設の老朽化、職員の適正配置の面から、幼稚園事業と保育園事業を一体化する施設の運営が各地で始まっています。小山町でも平成26年度から町内初のきたごう保育園、北郷幼稚園を一体化すべく工事が開始

A の運営形態は、先

されています。しかしながら未だどのような運営形態なのか説明がないため不安に感じている保護者もいると聞いています。運営形態と募集要項をいつまでに公示されるのか伺う。

進地の事例等を参考に運営方針や子ども達の一日の生活デザイン、職員の勤務体制などを検討会議等を設けて、小山町の幼保一体化施設は幼保連携型認定こども園とする方向で検討しています。こども園では、幼稚園児である短時間利用児と保育園児である長時間利用児の4歳児と5歳児を一定時間共通のカリキュラムのもと教育、保育を行う方向としています。8月には関係職員の研修を行い、9月に保護者等に対し入園手続きを見据えた説明会を開催します。

一般質問に6人が登壇



池谷 洋子



▲健康福祉会館で行われている予防接種の風景

Q 「風疹対策」に予防接種の助成は

A 国・県及び近隣市町の動向を見ながら検討します

患者のせき、くしゃみなどでウイルスが飛散し感染を広げる「風疹」が猛威を振るっています。妊娠初期の女性が感染すると赤ちゃんに心臓疾患や難聴、白内障など「先天性風疹症候群」と呼ばれる障がいを引き起こす恐れがあります。拡大を防ぐため厚生労働省はワクチン接種を呼びかけ、接種費用を助成する自治

体も増えました。次の点を伺う。

Q 婚姻届出や母子手帳発行時のパンフレット配布は。

A 婚姻届を出されるご夫婦には、住民福祉課の窓口で啓発チラシを配布し、母子手帳交付時は人込みを避け、風疹にかかっている可能性のある人との接触を避けるよう呼びかけています。

Q 接触の多い保育士や幼稚園教師へのワクチン接種は。

A 日常の教育・保育を通じ様々な人に接するため、正規・臨時職員を問わず、正しい情報の周知を図り、必要に応じて予防接種を検討するよう促していきま

Q 富士山の世界文化遺産登録による町の対策は

A 観光並びに商業の活性化を図っていきます

富士山世界文化遺産登録に伴い各地で大きな商業チャンス、観光チャンスをむかえ近隣の御殿場市、裾野市など大きな動きが始まっています。当然のことながら富士山を有する小山町にとっても最大のチャンスと捉え、町ならではの対策を考えていると期待します。そこで次の点について伺

Q 富士山須走口登山道及び周辺の観光スポットの整備と自然対策について。

A 五合目周辺の環境保全などを図る観光事業を実施し、遊歩道など観光スポットの整備を計画的に進めるため、観光振興計画、環境基本計画を策定し、観光

と環境のパラレルを考えた取り組みを行います。

Q 登山者への安全対策について。

A パンフレットなどを使い注意喚起に努め、「富士登山ナビゲーター」を配置し登山者の安全を図ります。

Q 外国人観光客への対策について。

A 「世界遺産のある町」と「金太郎生誕の地」を前面に出し、観光並びに商業の活性化を図っていきます。

Q 20〜40代の男性患者が多く、妊娠可能期の女性が身近にいる場合の対策は。

A 働き盛り世代には、商工会を通じて啓発チラシを配布し個々の接種履歴に応じた予防接種の検付を促します。予防接種費用の助成には、国・県及び近隣市町の動向を見ながら検討

と環境のパラレルを考えた取り組みを行います。

Q 登山者への安全対策について。

A パンフレットなどを使い注意喚起に努め、「富士登山ナビゲーター」を配置し登山者の安全を図ります。

Q 外国人観光客への対策について。

A 「世界遺産のある町」と「金太郎生誕の地」を前面に出し、観光並びに商業の活性化を図っていきます。

7 *ほか、「赤ちゃんの駅」について質問しました。



▲ 県道山中湖小山線交差点



高畑博行

Q 県道山中湖小山線交差点の信号機設置について

A 信号機設置に向け調整します

県道山中湖小山線(藤曲バイパス)が3月に開通したが、信号機が設置されず大変危険です。実際、開通以来2件の交通事故が発生しています。今後も事故に対する不安は払しょくされない。次の点について伺う。

県道山中湖小山線(藤曲バイパス)が3月に開通したが、信号機が設置されず大変危険です。実際、開通以来2件の交通事故が発生しています。今後も事故に対する不安は払しょくされない。次の点について伺う。

この事業は、平成19年に静岡県と警察署との交差点協議において交差点形状が決定し、それには信号機の設置はありませんでした。

今後町として設置要請をするのか。また、地元も要請行動すべきか。

当面の事故防止策として、大型カーブミラーの増設は考えていないか。

信号機がつかない理由とつか

信号機がつかない理由とつか

信号機設置に向けた検討資料の作成を静岡県へ要請しています。要請書の提出は、今後現状の推移をみながら検討していきます。

カーブミラー設置につきまして手段的必要性もふまへ管理上者である静岡県へ検討してもらえるよう要望していきます。

Q 小山町における小水力発電の導入検討について

A 小水力発電の導入について今後も検討していきます

東日本大震災以降エネルギー供給の議論が高まり、自然エネルギーや再生可能エネルギーによる発電に積極的な自治体が増加しています。中でも小水力発電はその筆頭であります。山梨県都留市などはその代表的自治体であり、伊豆の河津町なども工口を

キーワードに観光施策を積極的に進めています。そこで、水資源のたいへん豊富な本町も、長期的展望に立って小水力発電の可能性について調査研究していくべきだと考えるが、町の考えを伺う。

キーワードとして可能性があるかと考えており、これまでも、新エネルギー財団の小水力発電所設置調査研究委託事業や、緑の分権改革調査事業、早稲田大学の環境総合センターの取り組み等について研究してきました。

山梨県都留市はもとより小水力発電を中心に、工口をキーワードに観光施策を進める河津町等先進地の事例を収集し、本町の豊富な水資源を十分に活用しながら地域に合った小水力発電について検討していきます。

山梨県都留市などはその代表的自治体であり、伊豆の河津町なども工口を

小水力発電は、クリーンエネルギー

小水力発電は、クリーンエネルギー

小水力発電は、クリーンエネルギー



池谷 弘
(新生会)



▲富士山世界文化遺産構成資産として登録された富士浅間神社

Q 富士山世界文化遺産登録後の小山町の対応について

A 世界遺産のある町、小山町を広く発信します

世界文化遺産登録後に観光客の増加が予想されます。

五合目整備構想に沿った観光事業などを進め、道の駅「すばしり」や富士浅間神社前の本通り周辺を観光客が回遊できる取り組みなどを「観光振興計画」に盛り込み推進します。

△にHPで実況し、町をPRしていく考えがあるか。

「長期にわたる観光客誘致について」

「静岡県ライプカ×ラ富士山」のバナーを活用し、ホームページの充実をおし

「富士山に関する行事に町民全員が盛り上げていきます。」

「一過性ではなく、永続的に観光客が来訪してもらえるように10年後を見据えた観光客誘致の計画作成及び実施について伺う。」

「日々の富士山映像を町HPに」

「富士山に関する行事に町民全員が盛り上げていきます。」

文化会館・富士山頂等から富士山をリアルタイムにHPで実況し、町をPRしていく考えがあるか。

「富士山に関する行事に町民全員が盛り上げていきます。」

「富士山に関する行事に町民全員が盛り上げていきます。」

Q 東富士リサーチパークの活用について

A 地区計画の素案の作成に向け調整します

東富士リサーチパークは豊かな自然の中で研修所として活用されてきましたが、昨今の経済状況の中で研修所からの撤退が多く、現在数ヶ所の研修所のみとなり無人の研修施設もあり、猪や鹿が徘徊しています。

例えばホテル等にご利用可能な場合は、小山町の活性化や多額の税金を得ることができると考えます。

△にHPで実況し、町をPRしていく考えがあるか。

「富士山に関する行事に町民全員が盛り上げていきます。」

「東富士リサーチパークの活用について」

東富士リサーチパークの用途変更の対応を含め、今後の活用について。

「富士山に関する行事に町民全員が盛り上げていきます。」

世界文化遺産登録後に多くの観光客の増加も予想されます。研修施設が

東富士リサーチパークの用途変更の対応を含め、今後の活用について。

「富士山に関する行事に町民全員が盛り上げていきます。」

多くの観光客の増加も予想されます。研修施設が

東富士リサーチパークの用途変更の対応を含め、今後の活用について。

「富士山に関する行事に町民全員が盛り上げていきます。」



▲進捗が期待される都市計画道路大胡田用沢線



込山恒広

Q 市街化区域未利用地開発による人口増加策

A 定住促進施策の新しい助成制度を検討します

人口減少時代に入
り、町でも二万人を切る
状況ですが、優良住宅地
は利用者の訴がある状態
です。

町の市街化区域は区画
整理がされていないの
で、整然とした市街化の
形成ができていません。
当然乱立すると、後に
なって理想の市街化形成
に障害があります。奥地
で進がない場所等は曲っ
た進入路が入り優良宅地
にはなりません。町内へ
の定着人口増加のための
社会資本投資として宅地
供給は有効な施策であり
ます。

市街化区域の未利用地
が将来整然とした市街化
形成となるよう町長の考
えを伺う。

Q 区画整理事業が
できないならば、
地主の納得を得て、条例
等で理想の道路計画の策

定はできないものか。

A 道路には町内の
主要拠点、施設を
結ぶ幹線道路が先ずあ
り、幹線道路を補完する
補助幹線道路、そして地
区の生活道路等があり、
町内をくまなく網羅する
道路網を形成すること
が、将来整然とした市街
地形成を図るために必要
であると考え、庁舎内で
道路整備プログラム策定
プロジェクトチームを立
ち上げ、検討しました。

条例で道路計画の策定を
することにしています。
が、一般的ではないと認
識しています。法的に位
置付けるためには、地区
計画等において、道路を
地区施設として位置付
け、都市計画決定をし、
条例化するといった手法
があります。

Q 造成される土地
に特別助成制度な



▲市街化区域の未利用地

ど、優進策等の考えはあ
るか。

A 平成24年度まで、
宅地基盤整備事業
補助金制度があり、一定
の要件を満たした宅地分
譲の事業者に対し、町か
ら補助金を出す制度があ
りましたが、件数を見る
限り有効に利用されてい

るとは考えられないこと
から、一旦この制度要綱
を廃止し、現在、定住促
進を図るための一つの施
策として、宅地分譲を進
める事業主体となる方々
が使いやすい新しい助
成制度の検討をしていま
す。



阿部 司
(新生会)

ゲートキーパーの心得

- 自ら相手とかかわるための心の準備をしましょう
- 温かみのある対応をしましょう
- 真実に聴いているという姿勢を相手に伝えましょう
- 相手の話を否定せず、しっかりと聴きましょう
- 相手のこれまでの苦勞をねぎらいましょう
- 心配していることを伝えましょう
- わかりやすく、かつゆっくりと話をしましょう
- 一緒に考えることが支援です
- 準備やスキルアップも大切です
- 自分が相談にのって来たときのつなぎ先(相談窓口等)を知っておきましょう
- ゲートキーパー自身の健康管理、悩み相談も大切です



まずは、声をかけることから始めてみてください。
ゲートキーパーとは、悩んでいる人に対して、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなぐ、見守る人のことです。

発行：2013年 印刷：2013年

内閣府地域支庁振興課HP <http://www8.cao.go.jp/choseido/choseido.html>
 国土交通省観光庁HP <http://www.lta.go.jp/> 観光庁観光ガイドHP <http://www.kankou.go.jp/>

▲ゲートキーパー手帳表紙（出典：内閣府HP）

ゲートキーパーの養成について

研修の実施を呼びかけ養成に努めます

Q 県で「ゲートキーパー3万人養成」という記事があった。ゲートキーパーとは悩んでいる人に気づき、声をかけ話を聞いて必要な支援につなぐ、見守る人である。そこで次の質問をします。

A 県で「ゲートキーパー3万人養成」という記事があった。ゲートキーパーとは悩んでいる人に気づき、声をかけ話を聞いて必要な支援につなぐ、見守る人である。そこで次の質問をします。

Q ゲートキーパーの養成を考えると、町内各種団体の皆様に研修実施を呼びかけ、ゲートキーパーの養成に努めます。

A 町民の意識啓発を目的とした映画の上映や、小中学校での健康教育を行っている。また、精神保健福祉士による相談を実施し、啓発と相談に取り組んでいます。

Q 学校の先生方がこの資格を取得すべきと考えますが、

A 教員は日常の教育活動の中でその役割を担っているが、希望する者には研修参加を希望します。

Q 学校として、命の大切さ等への教育の取り組みは、

A 命を守る教育は、

Q 重点方針の一つで授業を通じて学んでいます。悩みや不安を抱える生徒等への指導や対応は、

A スクールカウンセラーや子ども相談員も含め悩みを把握する努力をしています。悩みを把握した際は複数の職員によるチームで指導しています。

観光ガイドの募集及び育成について

既存の団体等と協力し、早い時期に育成します

Q 富士山の文化遺産登録が直前に迫り、富士宮市や裾野市では、観光ガイド等の準備が着々と進められておりますが、我が町では現在でもそのような気配すら余り感じません。事前の準備やPRも不十分であり、盛り上げに欠け憂慮していたところであります。

A 富士山の世界文化遺産関連の基礎

Q 既にガイドの心当たりや団体がいるのか。

A 町には観光資源を広く案内している「四季の旅人」のほか、富士山を中心

Q 町には観光資源を広く案内している「四季の旅人」のほか、富士山を中心

A 町には観光資源を広く案内している「四季の旅人」のほか、富士山を中心

Q どのような観光ガイドを育成するのか。

A 富士山の世界文化遺産関連の基礎

Q 募集をいつ始めるのか。

A できるだけ早い時期に、現地実習を含めた基礎的な養成講座を3日程開催したいと考えています。

